



# 松竹健康保険組合

## 第3期データヘルス計画

令和6年度～11年度における

保健事業の実施計画

# 保健事業項目

## 【データヘルス計画実施における全体目標】

- ◆ 事業主(適用事業所)に対し、松竹健康保険組合が保有する健診結果やレセプトデータの集計・分析結果などをもとにした従業員の健康や医療費の状況について情報提供の実施
- ◆ 加入者に対する健康情報の発信によるヘルスリテラシーの向上
- ◆ 保健指導、医療機関への受診勧奨・経過観察の実施による生活習慣病を主体とする疾病の重症化予防事業の推進
- ◆ 事業主(適用事業所)との協働(コラボヘルス)による、働きやすさと生産性の高い職場づくりへの協力

## 【個別事業の重点課題】

- ◆ 特定(定期)健診・特定保健指導の受診率の向上と適用事業所ごとの健康課題の抽出・可視化を最優先課題とする
- ◆ 第2期までの要医療機関受診者に対する受診勧奨の継続に加え、通院中にもかかわらず改善がみられない方(コントロール不良群)への面談実施・情報提供などの取り組みを追加することにより、生活習慣病の重症化リスク「0」を目指す(重症化予防事業の強化)
- ◆ 健保保健師による加入者のヘルスリテラシーの向上を目的とした健康・医療に関する情報提供の推進

### 重点課題事業



### その他の 疾病予防事業



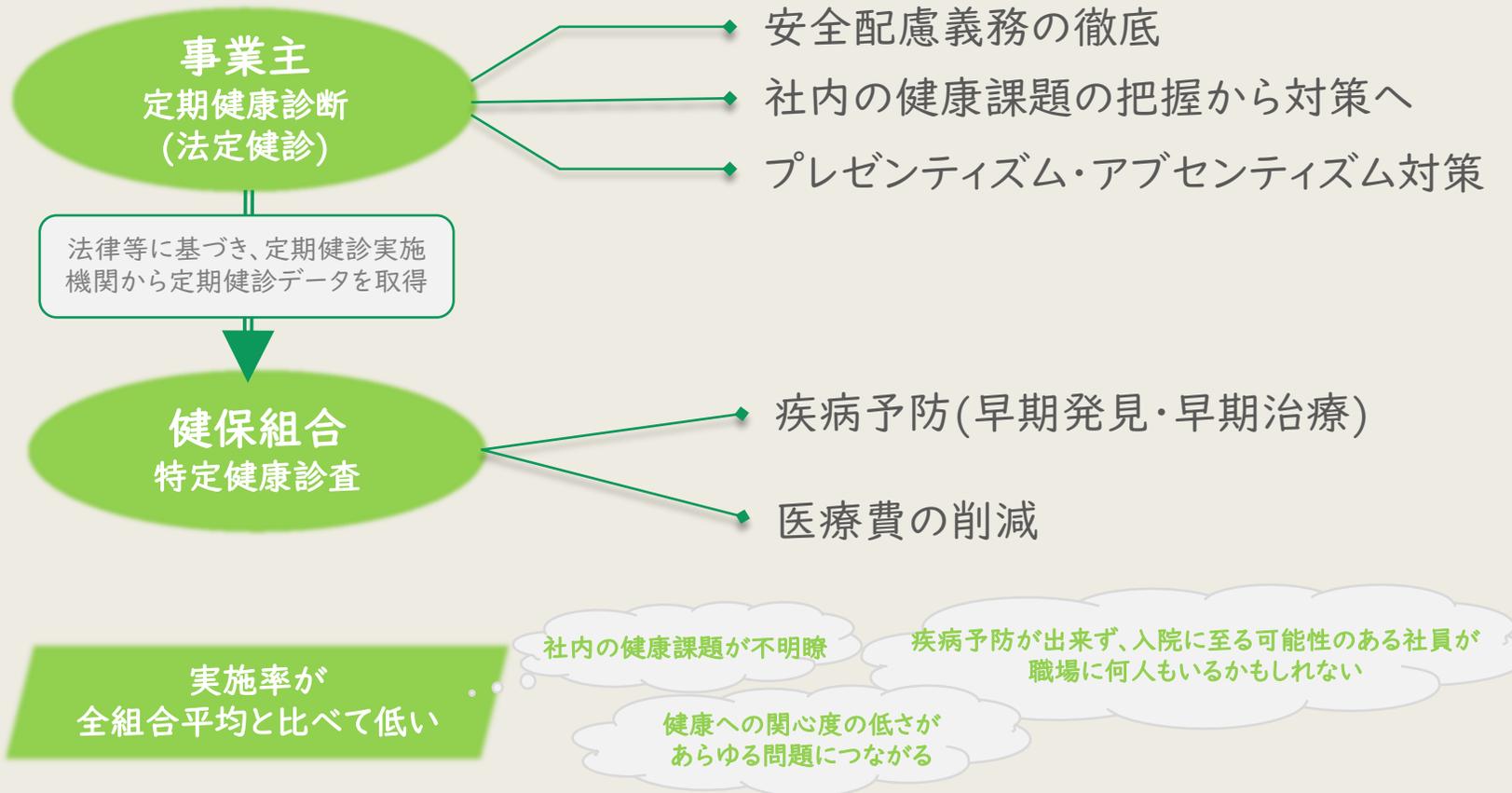
# 健診(定期健診・特定健診)受診の徹底と 結果データ回収経路の整備

## 重点課題事業

健康診断・特定保健指導  
受診率の向上

重症化予防対策

ヘルスリテラシーの向上



- ▶ 年度内未受診者について、各事業所の保健事業担当者と連携し受診勧奨(未受診理由についての把握に努め、不明者0人を目指す)
- ▶ 法律に基づき、定期健診実施機関から40歳未満の健診結果についても、結果データの提供を受けられるよう整備
- ▶ 現状の健診実施体制の変更について検討(事業主が実施する定期健診と健保が実施する人間ドックの一体化など)

# 重点課題事業

健康診断・特定保健指導  
受診率の向上

重症化予防対策

ヘルスリテラシーの向上

## 特定保健指導受診率の向上



実施率が  
全組合平均と比べ  
著しく低い

2~3年連続で  
特定保健指導の該当になる方が、  
全対象者の約4~6割

- 当健保組合保健師及び外部委託業者にて特定保健指導受診勧奨の強化
- 特定保健指導受診率を毎年8ポイントずつ引き上げることを目標とする
- 連続対象者に対し、健保保健師が個別にアプローチすることにより、委託事業者による指導のマンネリ化の解消や対象者ごとの生活習慣改善策の提供が可能となる。  
(生活習慣病の重症化予防による将来的な医療費の削減)

被保険者のうち連続対象者 → 当組合保健師担当  
その他被保険者(本人)と被扶養者(家族) → 外部委託業者

詳細については、『特定健康調査等実施計画』に記載

# 適正な生活習慣により、肥満率の低減へ

## 重点課題事業

健康診断・特定保健指導受診率の向上

## 重症化予防対策

ヘルスリテラシーの向上



### ➤ 若年者対策

- ・若年者(40歳未満)の健診結果データを取得・分析することにより、各事業所の健康課題を明確化し、結果を事業所と共有。
- ・40歳未満の加入者に対する『自身による生活習慣の見直し(正しい生活習慣の維持)』につなげる取り組みの企画・実施。
- ・「ヘルスリテラシー」の醸成を目的とした新入社員への情報提供(メール配信・資料の配布等)

### ➤ 事業主との協働(コラボヘルス)

- ・事業主に対して健診結果の分析や健康課題の共有、生活習慣の改善(飲酒や食事、運動習慣、睡眠など)や禁煙・メンタルヘルス対策に関する情報提供などをきっかけに、共同事業(コラボヘルス)の実施を目指す。

# 重点課題事業

健康診断・特定保健指導受診率の向上

## 重症化予防対策

ヘルスリテラシーの向上

### 生活習慣病の重症化リスクから守る



どこも痛くも  
なんともないから  
大丈夫

自覚症状がなくても身体には  
変化が起きている

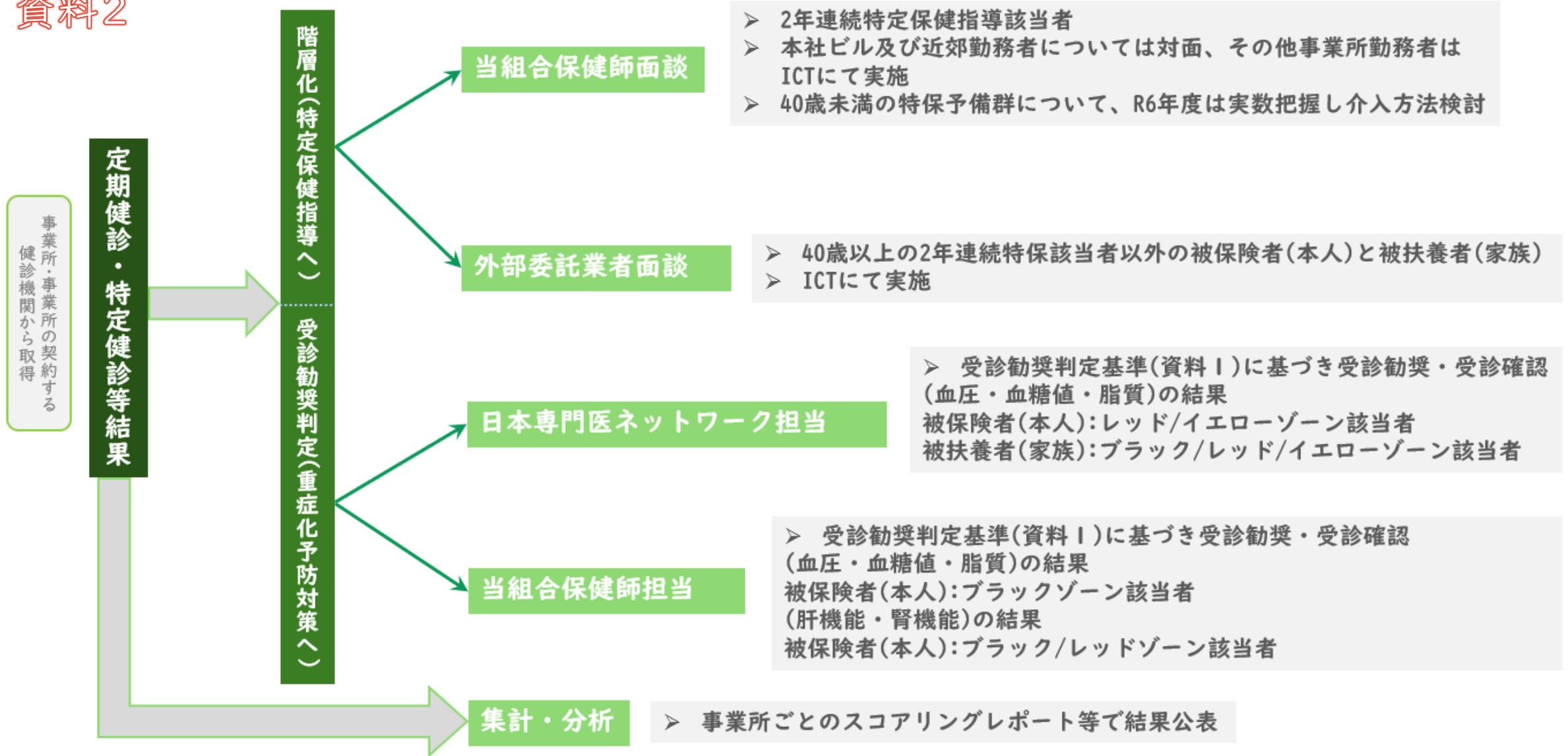
動脈硬化から、  
血管変化の進行や臓器障害、脳卒中、  
心臓病、糖尿病合併症の発症へ

- 健診結果に基づき、生活習慣病関連疾患に関わる検査項目を『受診勧奨緊急度別』にレベル分け(資料1)
- 受診勧奨対象者へ受診勧奨、適宜各事業所の保健事業担当者と連携
- 服薬治療をしているが改善がみられない者(コントロール不良群)に対しても受診状況を確認
- 当健保組合保健師と外部委託業者で担当分けを行い対象者について個別に対応(資料2)

## 松竹健康保険組合 受診勧奨判定基準

検査項目		単位	受診勧奨 緊急対応者 (ブラックゾーン)	受診勧奨 優先対応者 (レッドゾーン)	受診勧奨者 (イエローゾーン)
			ブラックゾーン該当 検査値	レッドゾーン該当 検査値	イエローゾーン該当 検査値
血糖	空腹時血糖	(mg/dl)	$\geq 160$	$160 > \sim \geq 130$	$130 > \sim \geq 126$
	HbA1c	(%)	$\geq 8.0$	$8.0 > \sim \geq 7.0$	$7.0 > \sim \geq 6.5$
血压	収縮期血压	(mmHg)	$\geq 180$	$180 > \sim \geq 160$	$160 > \sim \geq 140$
	拡張期血压	(mmHg)	$\geq 110$	$110 > \sim \geq 100$	$100 > \sim \geq 90$
脂質	中性脂肪	(mg/dl)	$\geq 1000$	/	$1000 > \sim \geq 300$
	HDL-C	(mg/dl)			$< 35$
	LDL-C	(mg/dl)	$\geq 180$		$180 > \sim \geq 140$
腎機能	尿蛋白	-	+++	++	/
肝機能	$\gamma$ GTP	IU/L	$\geq 500$	$500 > \sim \geq 300$	$300 > \sim \geq 101$
	GOT	IU/L	$\geq 300$	$300 > \sim \geq 100$	$100 > \sim \geq 51$
	GPT	IU/L	$\geq 300$	$300 > \sim \geq 100$	$100 > \sim \geq 51$

## 資料2



「階層化」:内臓脂肪の蓄積を基準に、血圧・血糖値・脂質の検査結果と問診項目(喫煙)による生活習慣病のリスク判定(高確法)

「受診勧奨判定」:生活習慣病など疾病の重症化予防の為、松竹健保が定める「重症化予防基準」により医療機関受診が必要な方を選定

## 「自分や周りの人の健康について考える」機会の提供



- 全加入者向け、もしくは対象者別に医療や健康に関する情報発信
- 相談窓口の周知
- 健康経営に関する情報や、様々な健康関連情報ツールの紹介
- 当健保組合の『健康マイポータル』への登録必須化
- 機関紙の他、メールでの情報発信により、効果的な情報発信頻度や周知徹底を可能に  
(被扶養者(家族)についても新たにメールでの情報発信導入予定)

## 重点課題事業

健康診断・特定保健指導受診率の向上

重症化予防対策

ヘルスリテラシーの向上

心と体を



ととのえる

## 健康相談サポートサービスの提供

# 重点課題事業

健康診断・特定保健指導受診率の向上

重症化予防対策

### ヘルスリテラシーの向上

心と体を



ととのえる

いつでも気軽に、  
タイムリーに相談

◆ 疾病予防

◆ 適切な専門医への早期介入の促進

◆ プレゼンティーズムの改善

- 外部専門事業者と契約し、「健康」、「育児」、「介護」、「メンタルヘルス」に関することなどについて、電話やWeb、対面による無料相談サービスを提供。（全加入者利用可能）
- 同サービスでは、健診結果に関する相談や、医療機関・診療科・専門医の紹介も可能。
- 利用促進・ヘルスリテラシー向上のため、加入者に向け、当サービスによる「健康情報」を発信



松竹健康保険組合ホームページの  
トップページ右「健康相談・サポート  
サービス」バナーより閲覧可能

# その他の疾病予防事業



## 定期的な検査や 予防接種

- ◆ 疾病の予防
- ◆ 早期発見・早期治療へ
- ◆ 医療費の削減

- 各種検診や予防接種などの費用補助
- 無関心層に対する受診機会の提供
- 各種疾病予防事業の提供により、一人ひとりの予防行動の獲得（醸成）につなげる

## ジェネリック 医薬品の使用 促進

- ◆ 自己負担の軽減
- ◆ 医療費の適正化

- 差額通知（情報提供）を行い、通知前後で後発医薬品への切り替えが行われているか等を確認
- ジェネリック医薬品についての情報提供
- 『かかりつけ薬局』や『お薬手帳』の推進（広報）



当計画は令和6年3月に策定したものであり、第3期（令和6年度～令和11年度）中の各年度において、評価・見直しを行うものとする。

